

第2次恵那市地域計画

笠置地域自治区

【キャッチフレーズ】

活気あふれ 皆が住み続けたいまち かさぎ
皆が元気で暮らせるまち かさぎ
皆が住みたい 活気ある かさぎ

【地域の現状】

笠置町の人口は、平成12年国勢調査で1,573人 平成27年国勢調査1,243人、令和2年4月には、1,200人となり、大幅に人口が減少しています。若者の地域離れや出生率の大幅な減少で少子高齢化・過疎化に歯止めがかからない状況となっています。

国勢調査データによる人口シミュレーションでは、このまま人口減少が予測どおり推移すると20年後の令和22年には645人 40年後の令和42年には334人となり地域の存続が出来なくなる恐れがあります。

笠置町の世帯数は、平成28年を境に年々減少しており、自治会運営に支障をきたしている自治会もあります。また地域での行事や役も多く、その負担は高齢化に伴い若い世代の負担となり地域離れの要因のひとつになっています。

【目指すべき地域の姿(地域の全体構想)】

・町民ひとりひとりが、人口減少について危機意識を持ち、笠置町全体で取り組み、存続できるまちを目指します。合わせて、気軽に子育てを相談できるような場所や親子で遊び・学べる場の確保、小中学校との連携など子育てしやすい環境づくりを目指します。

・地域運営に女性の声が届きにくい体制であることから、女性が自主的に参加、活躍が出来る体制づくりを目指します。

・ボルダリング、ゆず、ボートカヌーなどの地域資源を最大限活用し、活気あふれるまちを目指します。

・先人が築きあげてきたかけがえのない伝統や文化、守り続けてきた豊かな自然やその景観があります。これらの財産を守り続け、次世代に引き継ぐことを目指します。

・町、区、自治会の役や行事が多いことから、行事の統一や組織の見直しを図り、地域住民の負担軽減を目指します。

・区、自治会単位での防災減災に対する取り組みが充分ではないことから、地域において防災減災体制を整備し、より効果の高い訓練を計画的に実施するよう目指します。

・青色パトロール、交通安全パトロール、街頭指導を継続しまちの安心安全に努めます。

・高齢者の見守り事業（感知センサーや配食）や集いの場づくりを継続していくとともに、高齢者の買い物や通院などの移動支援体制整備を目指します。

【計画の柱(基本目標)】

1. 活気あふれるまちづくり

移住定住事業、女性活躍の場づくり、子育て支援事業を推進するとともに、地域資源を最大限活用し、活気あふれるまちづくりを進めます。

2. 住みやすいまちづくり

行事の統一や組織の見直しを図り、ひとりひとりの負担を軽減するとともに、農地保全をはじめとする地域の環境や景観の保全は地域全体で取り組む体制整備を目指します。

3. 安心安全に暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで安心安全に暮らせるように、防災、防犯、交通安全に積極的に取り組むとともに、高齢者支援としてセンサーによる見守り活動、集いの場づくり、買い物や通院などの移動支援を行い皆が安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。

【基本施策】

計画の柱1：活気あふれるまちづくり

(1) 移住定住事業の推進

空き家バンク登録、空き家情報や地域情報を積極的に発信し、移住・定住の促進を図るための環境を整えます。

(2) 子育て支援

気軽に子育てを相談できるような場所や親子で遊び・学べる場の確保など若い世代が子育てしやすい環境を整えます。また、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるため、地域住民と学校との連携協力体制を整備します。

(3) 女性の活躍促進

役職や各種行事の運営など女性が自主的に参加・活躍できる体制づくりを進めます。

(4) ボルダリング、ゆず、ボートカヌーなど地域資源の活用

笠置山の豊かな自然を活かしたボルダリングや笠置峡のボートカヌー、ゆずの特産品などを市内外に発信しながら、各種イベントの開催や後継者の育成を進めます。

(5) 伝承文化・史跡の保存・伝承

地域の財産である伝統芸能・史跡を保存・伝承し、後継者育成に努め、地域住民の絆づくりを行います。

計画の柱2： 住みやすいまちづくり

(1) 行事の統一や組織の見直し

行事や組織運営について、人口減少や高齢化等によりひとりひとりの負担が増え、とりわけ若い世代の負担が増えています。行事の統一や組織の見直しにより負担軽減を図ります。

(2) 景観保全

自然豊かな景観を自ら大切にするため、荒廃する森林・農地の保全に努め、里山の魅力を観光資源として活用します。

(3) 道路環境整備

みんなの道愛護事業や町内一斉クリーン作戦等により、道路環境整備を進めます。

計画の柱3： 安心安全に暮らせるまちづくり

(1) 防災減災対策の取り組み

防災減災対策について地域で話し合い、家庭の備え（自助）地域の備え（共助）を徹底するとともに、いざという時でも困らない防災減災体制づくりを進め、効果的な訓練を計画的に実施します。

(2) 交通安全防犯活動の推進

青色防犯パトロール、交通安全パトロールや街頭指導を通して地域の安心安全に努めます。

(3) 高齢者支援

いきいきサロンやサークル活動などを推進するとともに、ボランティアや近所同士の見守り支援やボランティアによる買い物などの移動支援も進めます。

【地域間連携での取り組み】

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆笠置町 ☆中野方 ☆飯地町	柱1：活気あふれるまちづくり （4）ボルダリング、ゆず、ボートカヌーなど地域資源の活用 柱2：みんなが生き生きする （2）産業の開発と充実 柱3：足元の魅力に磨きをかける”飯地まるごと再発見” （1）まちの魅力発見、発信
取り組み内容	
<p>◎地域の魅力発信</p> <p>笠周地区にはそれぞれ魅力となる景観、伝統芸能、食べ物があります。イベントによる、物販販売など各地域が連携して取り組むことにより、さらなる集客を高めて行きます。</p> <p>また、統一を持たせた地域ブランドの構築を進め、ネット販売等をはじめとする、インターネットによる情報発信を一本化にすることにより、多くの情報が集約され魅力が高まるとともに、観光など回遊できるエリアの拡大が期待されます。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆笠置町 ☆中野方 ☆飯地町	柱1：活気あふれるまちづくり （1）移住定住事業の促進 柱2：みんなが生き生きする （1）移住・定住の促進をする。 柱：足元の魅力に磨きをかける”飯地まるごと再発見” （1）まちの魅力発見・発信
取り組み内容	
<p>◎多種多様な人材の発見</p> <p>笠周地域において人口減少が大きな課題となっています。UターンIターンを増やし人口減少を抑制するためには、地域の魅力を発信するとともに、交流人口を増やす必要があります。そのためには、景観、施設だけでなく、人のつながりが重要な視点となります。地域の隠れた多種多様な人を見つけるためには、地域間で連携して、広域で教授いただき活躍できるよう、後継者の育成を含めて人材バンクの登録など、人財の集積を進めて行きます。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">☆笠置町</div> <div style="margin-bottom: 10px;">☆中野方</div> <div>☆飯地町</div> </div>	柱1：活気あふれるまちづくり (2) 子育て支援 柱3：安心安全に暮らせるまちづくり (3) 高齢者支援 柱3：安心して暮らせるまちにする (1) 福祉の拠点の活用 柱2：まちぐるみで”子育て”と”生きがい人生”をサポート (2) 高齢者の生きがいづくりとケア
取り組み内容	
<p>◎福祉機能の強化</p> <p>高齢化が進む中で、高齢世帯や、独居世帯の増加により、高齢者が安心して地域で生活するための支援体制や環境整備を進めながら介護施設等を誘致し、生き生きと元気で暮らせるよう生活環境の向上を進めていきます。</p> <p>また、子育て支援も、協力して子育てができる支援体制やネットワーク化を図り、地域で子育てが楽しくなる仲間づくりを目指します。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">☆笠置町</div> <div style="margin-bottom: 10px;">☆中野方</div> <div>☆飯地町</div> </div>	柱2：住みやすいまちづくり (2) 景観保全 柱1：里山の恵みを活かす (1) 山林、原野を元気にする。 柱3：足元の魅力に磨きをかける”飯地まるごと再発見” (1) まちの魅力発見・発信
取り組み内容	
<p>◎里山資本主義による地域経済の活性化</p> <p>笠周地域の景観を守るため、間伐の推進、耕作放棄地の解消などを進めていく上で、新たな人材が必要となります。</p> <p>これらを行っていく人材を育成し新たな起業、雇用の場となり生業ができるよう、地元企業、まちづくり団体も巻き込んだ体制を整え、6次産業化に代表される、地域経済の活性化を進めていきます。</p> <p>自然豊かな笠置山の資源を活かした環境整備やイベントの開催等により多くの集客を高めて行きます。</p>	

連携する地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
☆武並町 ☆笠置町	柱3：人が行き交う交流のまち （1）観光資源の有効活用 柱2：住みやすいまちづくり （2）景観保全
取り組み内容	
<p>◎川を活かした景観作り</p> <p>両地区を流れる木曾川の対岸を活用した新しい景観づくりを推進します。今ある自然景観だけではなく、人の手による観光資源となる景観作りを両地区で検討し、交流人口の増加を目指します。</p>	